

研究開発の推進戦略に関する議論のポイント

1. ニーズ・デマンドからの課題抽出

- 社会から求められるアプリケーションの実現のために必要となる先行要素技術の開発において、適切な開発リードタイムを設定するには、具体的にはどのようなメカニズムが考えられるか。
- 実用化に近いフェーズの研究開発と、基礎的・基盤的な研究開発との間では、どのような比率でのリソース配分が望ましいか。
- ユーザにとっての「使いやすさ」を追求していくためには、具体的に何をすべきか。

2. オープンイノベーション

- (海外企業との連携も含め) 複数のプレイヤーが Win-Win の関係を樹立するためには、具体的にどのようなメカニズムが考えられるか。
- (国内で成功した製品を海外に売り込むのではなく) 研究開発段階から海外との連携を深めていくためには、具体的にどのようなメカニズムが考えられるか。(我が国の優位性や、連携先の地域などについて、具体的に留意すべき点は何か。)

3. 国際競争力の強化

- ニーズを踏まえた課題設定の段階から、開発成果の売り込みの段階までの一連の流れの中で、特に「研究開発」の段階においては、国際競争力強化のためにどのような方策が必要とされるのか。
- 社会的ニーズへの対応という観点と、国際競争力の強化という観点の関係について、どのように捉えていくべきか。

4. その他

- 研究開発には、2回の停滞期間(プロジェクト開始から4~5年後と、研究開発終了~事業化の間の「死の谷」)があるとの指摘もあるが、これら乗り越えるために、具体的にどのような方策が考えられるか。
- 研究開発における人材育成のために、具体的にどのような支援策が考えられるか。
- 研究開発のリスクについて、どのように説明責任を果たしていくべきか。

<具体的な対処方策のキーワード>

- ・ 研究開発資金制度における課題はないか。
 - ・ 研究開発評価制度における課題はないか。
 - ・ 現状のプロジェクト管理手法に課題はないか。
 - ・ NICTの研究資源(テストベッド、海外拠点等)をどのように活用すべきか。
- 等